

第1回放射光活用人材育成研究会 議事録

2009年3月13日 1400-1730 岡山大理学部 コラボレーション棟 403 共同研究室

参加者：原田勲（岡山大・代表）、横谷尚睦（岡山大・副代表）、圓山裕（広島大）
小泉昭久（兵庫県立大）、中村哲也（JASRI）、池田直（岡山大）

議題

原田 研究会設立要旨説明 原田
池田 岡山大イニシャティブ事業概要と台湾の放射光教育プログラム
横谷 HiSOR を利用する岡大のプログラム
圓山 広島大学に於ける放射光教育プログラムの取り組みについて
自由討論

はじめに原田研究会代表より人材育成研究会設立の経過とその趣旨について説明があった。岡山大学では2006-2007年度にかけて、文科省の大学院教育改革イニシャティブ事業に採択され、広島大のHiSORやSPring-8において教育を目的としたビームライン利用が行われた。それらの事業に至る問題意識や事業で得たノウハウは大変有用であり、もっと多くの人達にこれらの事柄を周知すべきとの認識が事業に関わったものに共有され、本研究会設立へのきっかけとなった。

放射光を用いる大学・大学院教育プログラムを開拓することは、SPring-8利用懇の次世代基盤強化ばかりで無く、放射光に関わるすべての分野に於いて重要な課題である。しかし、これらの問題意識は一般に十分認識されておらず、放射光を利用した教育プログラムの開発や実施に関わる理念やノウハウを広く開拓するために本研究会を活用したい旨説明がなされた。

次いで、池田（岡大）より、2006-2007年度岡山大学大学院教育イニシャティブ事業のうち、放射光関連のコース学習と実習の分担構造、プログラム実施のために行われた実務について説明があった。また台湾放射光施設で既に取り組みされている、大学と放射光施設が連携した教育プログラム例が紹介された。

また、横谷（岡大）より、岡山大で引き続き本年度も実施されたHiSOR岡大BLにおける放射光実習授業の具体的な内容について説明が行われた。班員構成や実習時間割、さらにはこの3年間で作成されてきた実習テキストとその運用方法について説明があった。

最後に、圓山（広大）より広島大学で2008年度から実施されている、HiSORを用いた放射光実習授業についての説明があった。特に、実習に至る背景、実習のプログラム内容、班構成についてその背景を含めて説明がなされた。

その後自由討論に移り、

- 1) 放射光施設を利用した授業において想定される、さまざまな事務的問題、具体的な授業形態やマシントイムの組み合わせ案が検討・討論され、より具体的な案の策定が必要：たとえば一テーマについて最適な実習時間、班員構成、実習担当者と学生との人数比率、マシントイムなど
- 2) SPring-8利用懇としての活動をサポートするためには、より広く放射光学会など公的機関を通じ、放射光教育の有用性をアピールするような体制が必要などの意見が出された。

次回研究会では、放射光教育に興味を持つより多くの機関との情報交換ができるよう、これらの関係機関への呼びかけや、海外を含めたより広い範囲での情報交換や情報収集を行うこととした。